

日伸鉄工建設（東京）

地元小学生が工場見学

約70人が鉄骨加工を学ぶ

東京都のMグレードフアブ、日伸鉄工建設（本社・葛飾区、金本貴範社長）は11月22日、葛飾区立上平井小学校の5年生（約70人の学習体験を受け入れた。同社はこども食堂やイベントへの参加など、地域貢献に注力しており、今回の学習体験を受け入れもその一環。当日、金本社長は工場

小学生の出身で、母校の自社の概要をはじめ、鋼構造や鉄骨加工、溶接、鋼材などの鉄構業界の基礎的な知識を分かりやすく説明した。

引き続き、2班に分かれて溶接やガウジングなどの作業を見学した。また、同社が製作したミニチュアの鉄骨部材を使用し、相手を確認しながら

皆さんに来てくれてうれしく思う」とあいさつし、

柱梁を組み立て、ボルトで締結する本格的な鉄骨建方を体験した。さらに、各クラスの代表者が実際に溶接を体験、製品は面取り加工をして各クラスに贈られた。

加した小学生は工場内の大好きな加工音に驚いていたが、熱心に見学し、学習体験を終えた。



葛飾区立上平井小学校の5年生約70人が訪問